

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度第3回なごかヘルシープラン21策定・推進協議会
2 開催日時	令和6年2月2日（金曜日）午後1時から午後2時まで
3 開催場所	さいわいプラザ 6階 大会議室
4 出席者名	<p>(委員) 草間委員長 笠井委員(代理) 上村委員 佐藤委員 熊倉委員 室賀委員(代理) 松井委員 五十嵐委員 鈴木委員 小坂委員 星野委員 丸田委員 太田委員</p> <p>(事務局) 福祉保健部：水島部長、健康増進課：五百川課長、曾根課長補佐、荒川係長（成人保健担当）、久保係長（生活習慣病予防担当）、伊藤主任（食育担当）、油谷主査、池田主事、上石保健師、江村保健師</p> <p>※関係課及び支所は、書面会議</p>
5 欠席者名	武井委員 丸山委員
6 議題	<p>1 第3次なごかヘルシープラン21計画書最終案について</p> <p>2 第3次なごかヘルシープラン21関連事業について</p>
7 審議結果の概要	<p>議題は承認された。</p> <p>資料を基に意見交換を行った。</p>
8 審議の内容	
事務局	<p>○開会</p> <p>○資料の確認</p> <p>○パブリックコメント結果報告</p>
委員長	<p>○委員長あいさつ</p> <p>今回のヘルシープランは、10年以上の計画になるため、新興感染症のような緊急事態の際には、柔軟な対応をしなくてはならない。この協議会で顔が見える関係ができた。今後は、計画書ありきでなく、すぐに問い合わせできる関係性を作っていく必要がある。</p> <p>計画書には、各委員の意見が反映されているが、市民から意見を求めたのが、2週間程度で足りない部分もある。この場で意見を交えな</p>

事務局	<p>がら、検討したい。</p> <p>○議題 1、2 について、事務局から説明願う。</p> <p>(資料 1「第 3 次ながおかヘルシープラン 21 計画書 修正前後一覧」について説明)</p>
事務局	<p>(資料 2「第 3 次ながおかヘルシープラン 21 関連事業一覧」について説明)</p>
委員長	<p>ただいまの説明について質問等はあるか。</p> <p>(質問等なし)</p> <p>無ければ、意見交換に進む(名簿順)。</p>
委員長	<p>ながおかヘルシープランでは、健康づくりのための多くの目標・指標があり、それを市民に示すことになる。強制はできないが、正しく啓蒙することが、結果として健康寿命につながるのではないかと。</p> <p>医師会及び行政は、何度でも市民に説明する機会を設けていく必要がある。</p>
委員	<p>3 章に歯と口腔の状況を入れていただき、ありがたいと思う。</p> <p>歯周病検診について、現状では、40 歳以上の検診は国の補助金が出ており、30 歳の検診は長岡市の予算で実施している。今月、20 歳と 30 歳の検診も国から補助金がでることが決定したため、今後長岡市でも 20 代からの検診ができるのではないかと期待している。</p> <p>問題は受診率が低いことであり、検診を受けるメリットを主張していくことが重要である。</p>
委員	<p>資料 2 の一覧にある薬剤師会の事業について、事業名を見直し、内容を幅広い年齢に対応するものに修正した。会員の多くは、保険薬局で処方箋調剤に携わっている。具合が悪い人に医療的な服薬指導をするだけでなく、具合が悪くなる前から気軽に相談できる場であることが我々に期待されることだと考え、取り組んでいる。</p> <p>また、より幅広い年齢に対応するために、長岡市と薬と健康のイベントを継続開催している。</p>
委員	<p>質問として、関連事業一覧に新しく追加した事業について印がある</p>

委員	<p>か確認したい。</p> <p>長岡商工会議所としては、個人事業主の健診受診率が非常に低い ため、令和4年度から健康増進事業として、健診機関の閑散期に合 わせて会員事業所限定で人間ドックの補助を実施しているが、未だ に受診率が低い状況である。この会議で得た情報を事業所に発信 して、健康増進の啓発に努めていきたい。</p> <p>以前は子どもたちの食育で学校現場に出向いていたが、コロナ の影響で中止になっている。計画にもあるように子どもだけでなく 、多世代で野菜の摂取量が少ない人が多いため、長岡市の委託事 業や個別相談で啓発していきたい。また、高齢者においては、歯 ・口腔の問題で、野菜料理があっても食べられない人もいた ため、食べやすい野菜料理を提案し、バランスのとれた食事で 住民の健康を支えていきたい。</p>
委員	<p>心と体の健康づくりにスポーツが及ぼす価値を生かし、ヘルシー プランに貢献したい。スポーツ協会では、スポーツ指導者の育成 だけでなく、パラスポーツ体験会等、障害のある人へスポーツの 楽しさを伝えている。この会議をきっかけに、企業から健康・ 体力づくりについての相談を受けたり、子育ての駅へのスポ ーツ指導者派遣の話がきたり、交流が広がっている。</p> <p>地域コミュニティにおいて、スポーツプログラムの実施・普及 を促進するために、スポーツ振興課と連携して、コミュニティー センター等とうまくつながっていくことが今後の課題である。</p>
委員	<p>長岡市食生活改善推進委員協議会では、各地域の課題に沿 った多世代健康料理教室や栄養指導に取り組んでいる。コミュニ ティセンターの講座では、関心のある人の参加はあるが、本 当に来てもらいたい人の参加がないことが課題だと感じる。 そのため、コミュニティセンターだけでなく、小学校や高齢 者の通いの場等に出向いて、栄養やフレイル予防について提 案し、行動変容のきっかけ作りをしていきたい。今回の計画 にある、「自然に健康になれる環境づくり」はとてもよい取 り組みだと思う。長岡市では、スーパーと協力し、減塩や野 菜を多く摂れるお弁当の提案をすでにされている。忙しいお 母さんや一人暮らしの高齢者等は時間をかけて料理をする ことが難しいため、気づいたら自然と健康になれるという 取り組みをより進めていけると良いと思う。</p>

委員	<p>今までの活動に加え、他の団体と協力して活動ができると良いと考えている。例えば、検診の受診率が低いという話があるので、子育て中のお母さんが集う「ままのまカフェ」に保健師から来てもらい、健診受診勧奨してもらうのも良い。実際に助産師に子宮がん、乳がんについて話をしてもらっている。今後も、このように協力していきたい。</p>
委員	<p>居場所づくりや心の安定を図る活動として、高齢者が参加できるお茶のみや冬期健康維持スポーツ大会を開催している。中でも、コロナ禍で中止・縮小していた冬期健康維持スポーツ大会や、グランドゴルフを200人規模で実施することができた。70代はまだ仕事をしており、参加者のほとんどが80歳～90歳。「自分はまだ高齢者ではない」と思っている方が多く、ヘルシープランの意識と実際の高齢者の考え方に意識のずれが生じている気がする。70歳の人に参加していただけるよう、老人クラブの活動をアピールしていただきたい。</p>
委員	<p>産業看護部会は、企業や健診機関に勤める保健師の会で、40歳以上の特定保健指導や予防的に若い世代の保健指導を行っている。</p> <p>20～30代の男性は自炊スキルが高く、食育をしっかり受けた子どもが社会に出てきていると実感している。40代男性は個人差が大きく、全く意識が向かない人をどのように変化させるかが課題と感じている。また、長岡市内は保健師が勤務している企業があまりない。アプリの運用は非常に使えると思うので、会員に周知していきたい。日常的に特定保健指導を実施する者として、保健師と巡り合う機会がない働く世代の人たちに本当はアプローチしていきたいと思うが、関与できないことが歯痒い。</p>
委員	<p>市町村が住民の最前線で仕事をするのに対して、県の役割は人材育成や広域調整。市町村の様々な課題を一度に解決できないが、市町村に協力をいただきながら優先順位をつけて支援していきたい。</p>
委員長	<p>素案について修正が必要という意見は無いようなので、委員の皆様から、了承が得られたということでよろしいか。</p> <p>素案について拍手で承認。</p> <p>ここまでの先生方の意見を踏まえて、アドバイザーのお二方から意見をいただきたい。</p>

委員	<p>市民、地域、関係する方々にとって、わかりやすい計画になった。</p> <p>第1次計画の策定から大切にしていることは、法定計画で国が示してくる基本目標を達成するための関連事業に焦点を当てながら施策を推進していくことは当然だが、この計画を通して「どのような長岡市の姿を目指すか」の議論を大切にしている。</p> <p>自分らしく、こころ豊かに輝く笑顔で暮らし続けることができるような長岡市のまちづくり、地域づくりを進めるために、市がサポートをするとともに、市民と地域が繋がることが重要だと思っている。</p> <p>今後の計画の推進に当たり、基本目標と施策に対する進捗管理は当然のこととして、基本理念に照らしながら、市民1人1人がどのような健康づくりに取り組んでるのか、地域がどのように取り組んでいるのか、関係団体や行政がどのようにサポートしてるのかという視点から議論していくプロセスを大切にしていなければ大変嬉しい。</p>
委員	<p>各団体から、コミュニティベースに活動が上がってくる、気がついたら健康になっている仕組み、出向いてアプローチする、他団体との連携の話が沢山聞けた。このようなキーワードが大事になり、待っているだけでは一部のしか健康になれないため、多くの人が、参加してくれるプログラム作りがポイントになってくる。「健康」という言葉にアクセスをしたがらない人も大勢いるので、楽しさを取り入れたり、子どものため、何かのためと言うと、それが健康に繋がる感覚になる。若い人たちが来るのはどういうところか等の、ニーズを考えてほしい。新たな健康アプリについては、初めは拒絶反応が出る方もいるかもしれない。アプリ登録者数や、アプリ利用者の歩数などの数値は、評価として大事になる。皆さんから、アプリについての意見をお聞きしたり、企業とのコラボも大事になると思う。ぜひ私達にも声をかけていただいて、何か手伝えることがあれば行いたい。</p>
事務局	<p>委員の皆様から、第3次ながおかヘルシープラン21の計画案を承認いただきましたので、今後、計画書の冒頭に市長の挨拶を入れて、3月には発行したい。議事の中で、長岡商工会議所からいただいた意見を反映して、第2次ながおかヘルシープラン21からの追加事業が分かるように明記して、後日お配りする。冊子と計画書が出来上がりましたら、送付させていただくので確認をお願いしたい。</p> <p>閉会にあたり、福祉保健部長水島からご挨拶を申し上げる。</p>

